

1月17日：銀行株が相場を牽引し、VN指数は続伸

VN指数は4営業日続伸、銀行株が相場全体を牽引した。

ホーチミン取引所のVN指数は0.48%高の978.96ポイントで取引を終えた。

同指数は4営業日で1.36%ほど上昇した。

週間ベースでも1.07%ほど上昇をした。

出来高は1億6400万株で売買代金にして3.3兆ドンほどであった。

銀行株が金曜日の相場を牽引した。同セクター指数は2.2%ほど上昇した。

最も取引された10銘柄の内の3銘柄が銀行株であった。ベティンバンク（CTG）、軍隊商業銀行（MBB）、サコムバンク（STB）の3行であった。

それら3行の合計の出来高は1728万株であった。

MBBは変わらず、CTGとSTBはそれぞれ0.1%と1.9%の上昇を記録した。

銀行セクターを最も牽引したのはベトコムバンク（VCB）であった。5.6%上昇した。

一方、ベトナム投資開発銀行（BID）は利益確定圧力に押され0.9%ほど下落した。

その他上昇したセクターは小売り、ヘルスケア医薬品、建設であった。

一方、IT、飲食料品、ゴム、農業、建設資材などは相場の重荷になった。

162銘柄が下落し、148銘柄が上昇した。

VN30指数は0.32%上昇、VN中型指数とVN小型指数はそれぞれ0.25%と0.35%下落した。

VNダイレクト証券によると、VN指数は970ポイントの節目を超えて、短期的なトレンドはポジティブであるとのことだった。

しかし、金曜日の相場はVCBの上昇によるところが大きく、その他の大型株はまちまちの動きであるため注意が必要であると同証券は忠告した。

つまり、投資家は積極的に市場に参加しているわけではなく、いくつかのセクターのみが上昇していると同社は語った。

VN ダイレクト証券によると、好材料が不足してくれば、970 ポイント付近で根固めをするだろうとのことだった。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.42% 安の 103.88 ポイントで取引を終えた。

木曜日の 1.09% 高から後退することになった。

出来高は 2500 万株で売買代金にして 2784 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。